

都市再生整備計画 事後評価シート  
原案

小野田駅前地区

令和4年2月

山口県山陽小野田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	山陽小野田市		地区名	小野田駅前地区			面積	41ha		
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	480(百万円)	国費率	40%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(市道小野田駅前7号線整備事業、市道小野田駅前8号線整備事業、市道小野田駅前9号線整備事業)、公園(日の出公園整備事業)、地域生活基盤施設(ポケットパーク整備事業)、高質空間形成施設(駅前広場美化整備事業、駅前広場街灯整備事業)									
			提案事業	地域創造支援事業(駅前広場イルミネーション整備事業、日の出地区生活道路整備事業)									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	高質空間形成施設(街路灯整備事業)			地元自治会により防犯灯が整備されたため基幹事業から削除した。			影響なし			
	新たに追加した事業		提案事業										
基幹事業													
交付期間の変更		当初	平成28年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	平成	年度								～	年度
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	駅前商店街通りの通行者数(平日及び休日の12時間調査における歩行者及び自転車の合計数)	人/日	229	平成27年度	260	令和2年度		263	○	あり なし	基盤整備の実施により、良好な市街地環境が整い、美観の向上だけでなく、通行するための目的や目標物の整備が通行者数の増加に繋がった。	
	指標2	計画区域内の居住人口	人	1,331	平成27年度	1,384	令和2年度		1,261	×	あり なし	急速な少子高齢化が予測以上の人口減少につながった。また、整備期間内に消費税率の引上げがあったことや基盤整備の進捗が遅かったことにより、居住誘導を促すことが困難となった。	
	指標3										あり なし		
	指標4										あり なし		
指標5										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	事業に対する説明会や協議会を重ねたことにより、市民のまちづくりへの意欲が向上し、小野田商工会議所による駅前広場でのイルミネーションや小野田駅前商店街振興組合、小野田駅前商店連盟による駅前広場を利用したイベントの実施など町おこしが生まれている。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築				小野田駅前商店街振興組合、小野田駅前商店連盟などの商業振興を目的とした団体と連携し、駅前地区の活性化に向けた取り組みを行った。 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 事業完了後も継続的に関係団体と協働した駅前地区の発展に取り組んでいく予定である。				

## 様式2-2 地区の概要

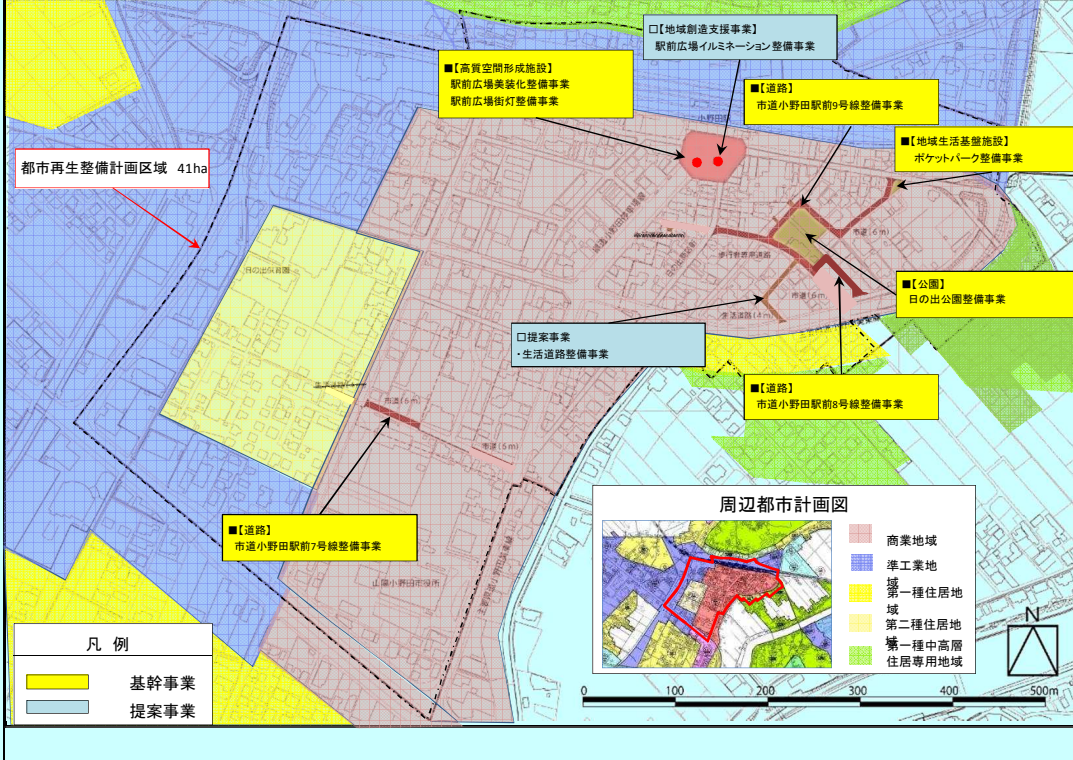
### 小野田駅前地区(山口県山陽小野田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 小野田駅前地区の活気と活力の再生と人口定住を促進する市街地の整備 目標① 駅前広場の環境整備を行い、駅前の賑わいを向上させます 目標② 道路、公園などの基盤整備を行い、安全で快適な居住環境を整えます	駅前商店街通りの通行者数	人/日	229	人/日	260	人/日	263	人/日
	計画区域内の居住人口	人	1,331	人	1,384	人	1,261	人

駅前広場街灯整備事業  
駅前広場イルミネーション整備事業



駅前広場美装化整備事業



ポケットパーク整備事業



市道小野田駅前8号線整備事業  
市道小野田駅前9号線整備事業  
日の出公園整備事業  
日の出地区生活道路整備事業



#### まちの課題の変化

- ・駅前広場の美装化及びイルミネーションの整備により、町の美観が向上し、魅力ある駅前空間の創出につながるとともに日の出公園等の整備により、公園利用者が駅前を通行する機会が増加し、駅前における人流に変化がみられた。
- ・市道、生活道路の整備によって、生活環境の変化がみられ、安心安全な駅前までの通行や緊急車両の通行が可能となり、快適な居住空間に貢献した。
- ・公園等の整備は、住民にとっての遊戯や憩いの場となり、良好な居住環境をもたらすと同時に防災面に関する不安軽減につながった。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・今後はソフト事業の展開により、賑わいの創出を図っていく。
- ・新たな賑わいの創出には民間事業者の力が不可欠であり、行政は必要な支援を行う。
- ・管理者の適正な維持管理や地元自治会と連携した維持管理を実施していく。
- ・人口減少、高齢化社会に向けた都市機能の集約化と居住誘導による中心市街地の形成を検討していく。
- ・転入を促進する施策や官民連携した空き家対策の検討をしていく。
- ・組織間でのさらなる連携を図り、事業にとらわれないまちづくりを継続して進める。